

府内の来阪旅行者の集客関連事業者を対象に、「観光」に関する景気観測調査を実施しました。(四半期毎に実施)

★前回調査において、一服感がみられた大阪の集客関連事業者の業況判断DIは、対前期比、対前年同期比ともに、再び上昇に転じた。とりわけ対前年同期比は、大幅に上昇し、調査開始以来過去最高値となった。  
来期の業況見込みDIは、今期業況(対前期比)よりも上昇しており、「好調」が続くと予測される。

★購買・宿泊単価DIは、前回調査より上昇し、調査開始以来過去最高値となった。一方で採算DIは前回調査よりも低下した。

★東アジアの訪問・宿泊客数DIは、平成26年4～6月期から4期連続で、過去最高値を更新した。調査対象期間には、春節があったため、とりわけ、中国、台湾、香港の利用者が多かったという事業者の声があった。  
また、外国人からの問合せ件数DIも調査開始以来過去最高値を更新し、来期の東アジアの訪問・宿泊客数は、引き続き好調であることが予測される。

観光客全体の動き

①業況判断

◆対前期比、対前年同期比ともに上昇。対前年同期比は過去最高値。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前期比)	60.0	53.1	6.9	↗
DI(対前年同期比)	83.4	62.5	20.9	↗

②訪問・宿泊客数

◆DIは、前回調査に引き続き上昇。過去最高値を更新。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前年同期比)	86.3	77.4	8.9	↗

③採算

◆DIは前回調査から低下。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前年同期比)	53.9	60.0	-6.1	↘

④購買・宿泊単価

◆DIは、前回調査より上昇し、過去最高値を更新。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前年同期比)	63.0	51.6	11.4	↗

⑤来期業況見込み

◆今期業況(対前期比)よりも、上昇。過去最高値を更新。

	今回調査	今期業況	今期との比較	
DI(対前期比)	69.0	60.0	9.0	↗
(前回調査)	34.4			

東アジア(韓国・台湾・中国・香港)外国人観光客の動き

⑥東アジアの訪問・宿泊客数

◆DIは前回調査より上昇。前回に引き続き調査開始以来、過去最高値。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前年同期比)	92.9	84.4	8.5	↗

⑦外国人(東アジア)からの問合せ件数

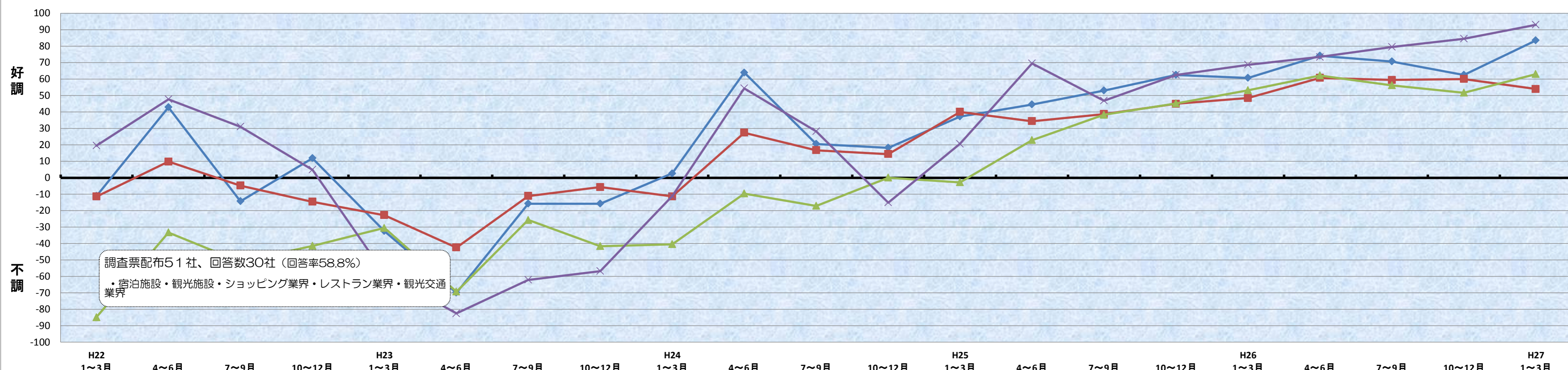
◆DIは前回調査より上昇し、過去最高値を更新。

	今回調査	前回調査	前回との比較	
DI(対前年同期比)	80.8	71.0	9.8	↗

動向指数(DI) 「増加・好調・黒字(%)」-「減少・不調・赤字(%)」

観光客全体の動き

◆①業況判断(対前年同期比) ◆③採算 ◆④購買・宿泊単価 ◆⑥東アジアの訪問・宿泊客数



調査票配布51社、回答数30社(回答率58.8%)  
・宿泊施設・観光施設・ショッピング業界・レストラン業界・観光交通業界